

ハンドボールの第29回琉球新報旗争奪九州高校選抜大会県予選最終日は23日、八重瀬町東風平運動公園体育館で男女決勝を行い、男子は興南がコザに29-22、女子は那覇西がコザに30-19で勝利し、優勝した。興南は6年連続、那覇西は2年ぶりの優勝を飾った。

### 県高校選抜ハンド

興南は前半に持ち味の速攻が出て18-9と大量リード。後半はコザに連続得点を許したが、逃げ切った。那覇西は高い位置の守りを貫き、コザからボールを奪って速攻で加点した。

男女優勝、準優勝校は、2月に宮崎県で行われる九州高校選抜大会への出場権を得た。

男子決勝	興南 29	1118	139	22	コザ
女子決勝	那覇西 30	1515	910	19	コザ

# 成長那覇西V



女子決勝 那覇西-コザ 後半 ミドルシュートを決める那覇西の中地杏莉

八重瀬町東風平体育館(下地広也撮影)

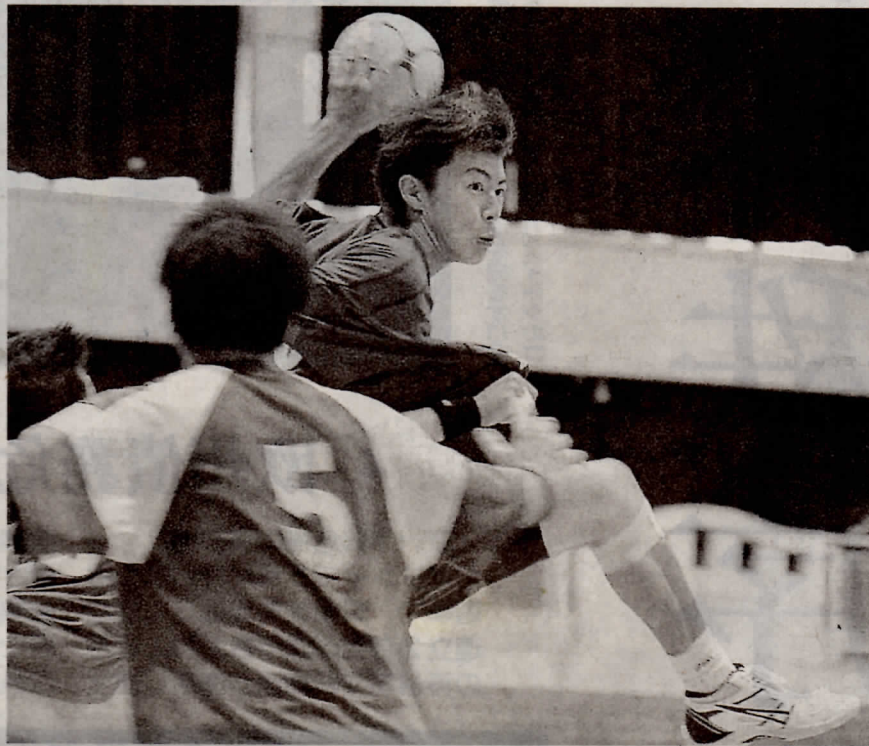
## 堅い守備 速攻で加点

最後まで足が止まらなかつた那覇西が、11月の新人大会に続きコザを退けた。3-2-1の守備で高い位置から圧力をかけてボールを奪い、速攻を連続。走り勝った分が、得点差となった。引いて守るコザに対して、ボールを散らして各ポジションから満遍なく得点を重ねた。

「守り勝ちだと思っ。新人大会より、守備で少しずつ(相手を)読めるようになった」と、成長を実感した様子だった。(菅山学)

# 貫禄興南V6

男子決勝 興南-コザ 後半 ゴール前に切れ込みシュートを狙う興南の伊舎堂博武



## 主力故障も層厚く

今夏の全国総体準Vメンバー6人が残る興南は、新人大会に続き主力2人が故障して万全でない中でも、6連覇と強さを見せた。

新人大会後に左足首を故障し、決勝で出場が少なかった黒島誠主将は「誰が出ても戦力が変わらないように、とやっていた。みんな頑張ってくれた」、父親の黒島宣昭監督も「層は少しずつ厚くなっている」と、チーム力の底上げを実感している。

センター比嘉栄透のゲームコントロールや1年生・伊舎堂博武のスピードに乗ったシュートに、持ち味の速攻が加わり、前半だけで18-9と大勢が決した。

だが、2桁得点差を目前にしてコザに連続得点を許すなど話めの甘さが出た展開に、黒島監督は「全然集中力がなく、キーパーと守備が絡んでいなかった。シュートも単調だった」と、3連覇が懸かる九州高校選抜を前に課題を見いだした様子だった。